

令和8年度 第1回 大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和8年6月16日（火） 午後1時30分から午後2時50分

場 所：大和町役場 3階 302会議室

出席者：千葉 喜一会長、及川 佳洋委員、工藤 浩太郎委員、中村 力委員、
結城 義秀委員、徳永 幸之委員、曾根 崇委員、小川 実委員、
早坂 秀男委員、内海 賢一委員、藤江 昭夫委員、若生 昇委員
堀籠 美江子委員、二瓶 智樹委員、小山 和恵委員（代：関澤 京子 様）
岩谷 亮委員、高橋 義喜委員、佐藤 雅之委員、藤原 孝義副会長、出席委員19人

事務局：まちづくり政策課 堀籠課長、千葉、市川

1. 開 会 進行 堀籠課長 13:30～

事務局より、大和町地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に基づき、委員19名全員の出席により本会議が成立する旨の報告。

2. 委嘱状交付

設置要綱第3条に基づき、委嘱状交付を代表者（株式会社大和タクシー 中村力委員）に行う。

（新規委員：株式会社ミヤコーバス 及川佳洋委員、東北運輸局宮城運輸支局 小山和恵委員（代理 関澤様）、宮城県大和警察署 岩谷亮委員、大和町都市建設課 藤原孝義委員）

3. あいさつ（副町長）

改めまして、こんにちは。本日はご多忙の中、令和8年度第1回大和町地域公共交通会議にご出席いただきありがとうございます。

先ほど、新たに4名の委員を委嘱いたしました。皆様には日頃より本町の公共交通推進に多大なるご尽力をいただいております。深く感謝申し上げます。

本会議は、国庫補助金を活用し、持続可能で利便性の高い公共交通網を構築することを目的としております。本日も皆様の忌憚のないご意見を賜り、より良い施策としてまいりたいと考えております。特に第4号議案では、新規車両の活用について提案しておりますので、慎重なるご審議をお願い申し上げます。

まもなく本格的な暑さを迎えますが、皆様におかれましては健康に留意され、引き続き本事業へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶といたします。本日はどうぞよろしく願いいたします。

4. 議 事

設置要綱第7条の規定により、千葉副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第1号 令和7年度事業報告及び収支決算について

（事務局より説明）

（資料P3～6参照）13：39～13：50 事務局（千葉）より説明

質疑

徳永委員：決算資料の数値表記の修正要請。町民バス利用減少に関し、高齢者・学生別の内訳や、バスターミナルの乗り継ぎ利便性の課題について把握しているか。また、免許返納者数の増加と利用実績の相関について伺う。

事務局：利用者の属性別内訳については後ほど詳細を確認する。乗り継ぎについてはダイヤの見直しで可能な限り改善を図りたい。免許返納者については、公共交通が受け皿となるよう利便性を高めていく必要がある。

高橋委員：交通ブックの掲載範囲と、インターネット予約導入後の予約システムの詳細（事前登録の有無や電話予約との併用）について伺う。

事務局：交通ブックは全戸配布。インターネット予約は事前登録制で、登録後はインターネットから予約可能である。電話予約の煩わしさ解消で利用促進につなげていく。

結城委員：高齢者の利用を考慮し、電話予約を継続してほしい。

事務局：当面は両方の予約受付を継続する。

議案第1号 【原案どおり承認】

議案第2号 令和8年度事業計画案及び収支予算案について

（事務局より説明）

（資料P7～8参照）14：00～14：05 事務局（千葉）より説明

質疑

高橋委員：予算額と補助金申請額に差がある理由について伺う。

事務局：令和8年度は運行分と車両購入分を合わせた合計額である。

議案第2号 【原案どおり承認】

議案第 3 号 令和 9 年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について
(事務局より説明)

(資料 P 9～19 参照) 14 : 10～14 : 20 事務局 (千葉) より説明

質疑

徳永委員 : 評価計画にある乗り継ぎダイヤ検討について、議題 4 のハイエース活用とも関わるため、計画に明記すべきではないか。また、JCHO 仙台病院への延伸は「継続検討」ではなく「継続実施」として書き改めるべき。

事務局 : ご指摘のとおり修正を行う。

議案第 3 号 【原案どおり修正の上、承認】

議案第 4 号 令和 8 年度 町民バス・ハイエースの活用方法について
(事務局より説明)

(資料 P 20～22 参照) 14 : 25～14 : 32 事務局 (千葉) より説明

質疑

関澤委員 : ハイエースの定員と乗降用ステップの有無、および運用開始時期について伺う。

事務局 : 定員は 10 名。ステップは標準装備ではない。車両自体は 8 月末に納車予定だが、今年度は予備車両として活用しながら実証運行を行い、本格運用は令和 9 年 4 月からを予定している。

関澤委員 : 高齢者の乗降を考慮し、ステップの設置や介助への配慮を検討してはどうか。

事務局 : ご意見を踏まえ、乗降時の台座設置など、利用者への配慮については適宜検討する。

関澤委員 : 運行方法について、朝夕の需要が多い時間帯は従来の中型バスを充て、利用者の少ない日中の便(4 便から 9 便)をハイエースに切り替えるという理解でよいか。

事務局 : そのとおりである。利用状況や採算性を見極めつつ、日中の便での切り替えを実証していきたい。

結城委員 : ステップの仕様や高齢者の乗降配慮について伺う。

事務局 : 標準的な装備で対応するが、乗降時の安全確保については内部で検討する。

結城委員 : 車椅子対応についてはどう考えるか。

事務局 : 今後内部で検討を進める。

結城委員 : 冬場の路面凍結時の乗降リスクを考慮し、ステップの標準装備や運転手による介助などの配慮を検討してほしい。

議案第 4 号 【原案どおり承認】

5. 報 告

- ・デマンドタクシーおよび町民バスの利用状況、地域別の登録状況について
(資料P23～25 参照) 14:42～14:50 事務局 (千葉) より説明

質疑

徳永委員：24 ページ等の資料において、11 月以降、町民バスの利用者が減少している傾向が見られるが、その要因についてどう分析しているか。

事務局：11 月から 3 月にかけての利用減には、高校生の通学利用が減少したことが大きく影響している。降雪などの天候状況が利用実績に直結するため、季節的な要因が大きいと考えている。

徳永委員：高齢者の利用動向についてはどうか。

事務局：高齢者については、病院等への往路は公共交通を利用し、復路は福祉タクシー助成券を利用するといった使い分けや、寒冷期に自家用車による送迎へシフトする等の傾向が見られる。また、高齢者福祉タクシーの助成対象者拡大（75 歳以上全対象および 65 歳以上等の免許返納者への対象拡大）や助成額の引き上げも、バス利用からのシフトに一定程度影響しているものと推測される。

徳永委員：23 ページの登録者数に関し、7 月・8 月に特定の地区（宮床地区等）で登録が急増している理由は何か。

事務局：この時期、民生委員や社会福祉協議会のボランティアの方々にご協力いただき、地域の「いきいきサロン」等でデマンドタクシーの試乗体験会を実施した。この取り組みが周知につながり、登録者の増加という成果に結びついたものである。

6. 閉 会 14:55